

(別添 4)

愛媛県東温市 1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

デジタル技術が飛躍的に発展し、年齢・性別に関係なく全ての人がデジタル技術の恩恵を受けられ、一人一人が多様な幸せを実現できる Society5.0 が到来しようとする中、教育は、児童生徒が未来に向かって課題の解決に取り組みながら、新たな価値を生み出すための土台をつくる重要な役割を担っています。

個別学習や協働学習のそれぞれの学習場面や学習プロセスにおいて ICT を効果的に活用することは、子どもたちが様々な課題に関心を持って主体的・対話的に学ぶことにつながります。

1人1台端末を使ったデジタルドリルの活用やクラウドサービスの活用を前提とした通信ネットワークなどの ICT 環境を整備し、学びのツールとして ICT を活用することにより、情報化社会を生き抜くための能力の育成を目指します。

2 GIGA 第 1 期の総括

本市では、令和 2 年度末に 1人1台端末を全校整備し、教科や学習場面に応じて、情報の収集・理解・整理・発信・共有のツールとして端末を日常的に活用しています。児童生徒が自分の考えをまとめ、リアルタイムで考えを共有する授業支援システムや児童生徒一人ひとりの理解度にあわせて問題を出すデジタルドリル、愛媛県が独自開発した学習 e ポータル「EILS (エイリス)」など、多種多様なデジタルツールを活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進してきました。

3 1人1台端末の利活用方策

GIGA 第 1 期での利活用によって、1人1台端末は児童生徒の日常的な学びのツールとして定着しました。令和 7 年度末に控える端末の更新を着実に進め、児童生徒の「主体的な学び」と「個別最適な学び」をさらに深化させるとともに、教職員の働き方改革が進むよう、GIGA 第 2 期では以下の取組を推進します。

1. ICT 支援員の継続配置
2. 授業支援システム、学習向上支援教材、プログラミング教材、クラウドツールなど各種デジタルツールの利活用
3. 情報モラル教育の推進
4. 1人1台端末を利活用するための周辺機器の整備（更新）
5. 校内通信ネットワーク環境の整備（改善）